

2024 年度「海外語学実習(フランス語)」 参加レポート

音楽学部 音楽芸術学科 2年

私は①日常生活の言葉のやり取りをフランス語で出来るようになること ②帰国後フランス語の能力が確実に上がるようにすること ③初めてのフランスを肌で感じ、その魅力を再認識することの3つの目標を掲げ研修に参加しました。その目標の全てを達成出来たと感じており、達成感を得ています。

フランス語力にあまり自信はなかったのですが、現地のクラスは、真ん中のレベルのクラスに配置されました。先生と積極的に会話したところ、自分の分かる範囲の言葉でも十分に会話出来ることに気づき嬉しくなりました。

文法の授業が多く、今まで習ってきたことや新たに直接法半過去、中性代名詞を学びました。先生がより平易な単語やジェスチャーで解説してくださり、更に授業後すぐ word で打った板書を資料共有してくださったため、すぐ復習が出来て理解促進に繋がりました。この授業では教科書を 2 冊使い、毎回課題が出ました。負担にならないちょうど良い量の課題でした。

他にはオーラル(スピーキング)、合同オーラル(ヒアリング)の授業があり、オーラルは文法の授業とシンクロした内容でした。基本 1 人や 2 人 1 組で文章を作り、グループワークで会話するという授業でした。クラスを半分に割った人数で行うのでより発言の機会が得られました。合同オーラルの授業が一番難しく、他の 2 つの授業が簡単に思えてくるほどでした。フランス語の音声を聞き取って文字に起こし問題を解くのですが、日常会話よりも早すぎて、ついていくのに必死でした。どの授業も 3 回ほどテストがあり、そのため目標を見据え勉強することが出来ました。

生活面では、寮での暮らしに慣れない面もありましたが、1 人部屋だったため 1 人の時間をつくることが出来ました。他の大学の学生たちとの生活も楽しく、帰国後も連絡を取るような仲になれて嬉しかったです。

アンジェはとても良い街で、放課後や休日に散策に出かけました。中でもユネスコ世界遺産に登録されているアンジェ城を毎日拝むことが出来る(通学中に通るため)ことはありがたく、他にも美術館はどこでも 26 歳まで無料、教会もパン屋もたくさんあり、ずっと住みたいと思えるような街でした。基本歩いてどこでも行けるので便利な場所でした。課外活動は全て参加し、1 人では行けないような場所を楽しむことが出来ました。特にモンサンミッシェルと同日に訪れたサンマロという都市が想像よりも楽しく、別日にまた訪ねることも考えました。1 日 1 日が濃く短くあつという間で、日本にいた時よりも 1 日の密度が濃厚でした。その日は何をするか前もって予定を立てておかないと勿体ないと感じました。Google マップで近隣を検索し、行きたい店を探して開拓する行為が何よりも楽しかったです。もう 2 度と行けないようなアンジェを本当に満喫しました。

現地で買った買い物が一番の会話練習の場となり、日常会話をほとんど使えるようになりました。1 番濃いエピソードは、研修中に誕生日を迎えたため気になっていたパティスリーでケーキを買い、今日が誕生日だということを伝えると、その店員さんは翌日が誕生日だったことが分かりました。お互いに祝いあって、店員さんがケーキにメッセージプレートも付けてくれました。フランス語で喋れるようになって本当に良かったと実感した日でした。

4 週間とは思えないほど毎日濃い経験を得られたことに感謝しています。終わってほしくない反面、期限付きだからこそ集中して過ごせたのではないかと思います。予想以上に楽しくいつまでも余韻に浸ってられるような研修だったので、この制度があって本当に良かったと思います。



以上